

第3学年英語科学習指導案

1 単元名 Unit7 「This is for you.」～しょうたいカードをおくろう～

2 単元について

本単元は、「What do you want?」「(A star), please.」の表現を使って、進んで相手に欲しいものを聞いたり、自分が欲しいものを伝えようとしたりする単元である。これまでに学習した色や数、身の回りの物などの語とともに、さまざまな形を表す語や何が欲しいかを尋ねたり、答えたりする表現に出会うことで、これまでよりも英語のコミュニケーションの幅を広げていくことが期待される。

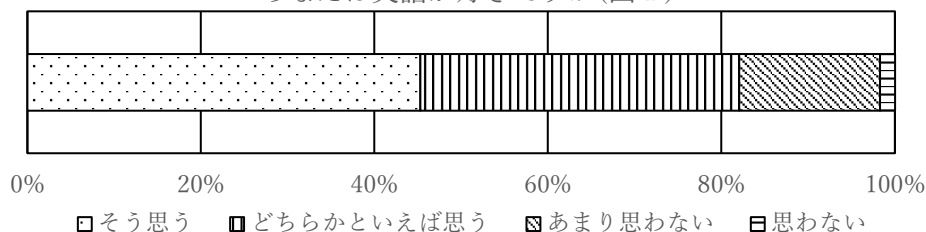
本単元のゴールでは、家族に“FOR YOU しょうたいカード”（インビテーションカード）を作成する活動を設定している。国語科の学習「気持ちをこめて『来てください』」の単元で、さまざまな場面で支えてもらっている家族に2学期の行事への招待状を書く活動を同時期に行う。本単元では、その相手や目的を意識して作成した招待状を装飾していく活動を行う。ICT 機器を利用して何度も欲しい装飾材料を尋ねたり、答えたりしながらカードを作成することで、相手に喜んでもらいたいという意識をもって活動できると考える。また、世界のさまざまなグリーティングカードを紹介する活動では、映像を視聴することによりそれぞれの文化や習慣があることにも気付かせたい。ただカードを紹介するのではなく、そのカードが使われる場面や状況、それがもつ意味などについて児童の気付きを促していく。

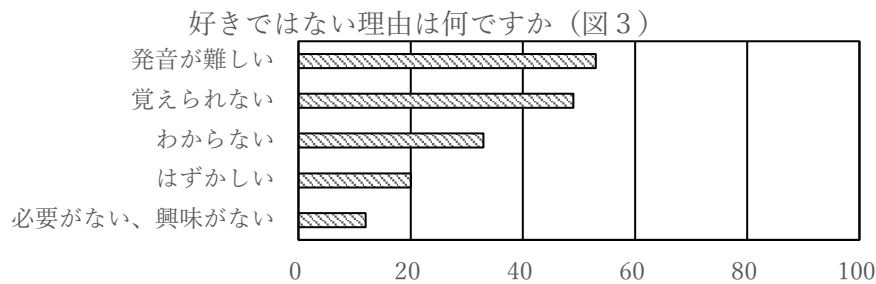
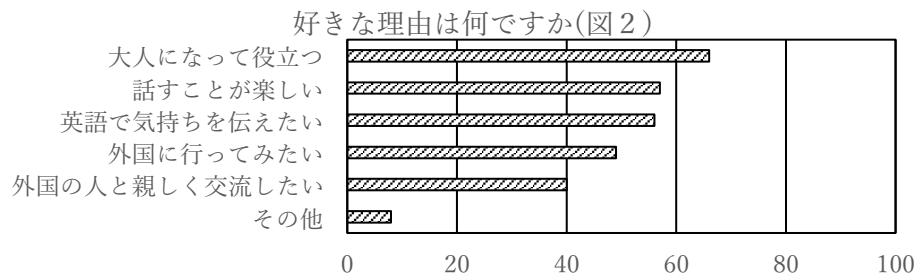
指導していくにあたり、デジタル教材を活用して繰り返し聞かせたり、さまざまなシルエットを見てそれが何かを当てたりし、日本語と英語の形の言い方との出会いを大切に指導していきたい。また、英語を使おうとする姿勢や、コミュニケーションを図ろうとする態度を認め、称賛していきたい。

3 児童の実態について

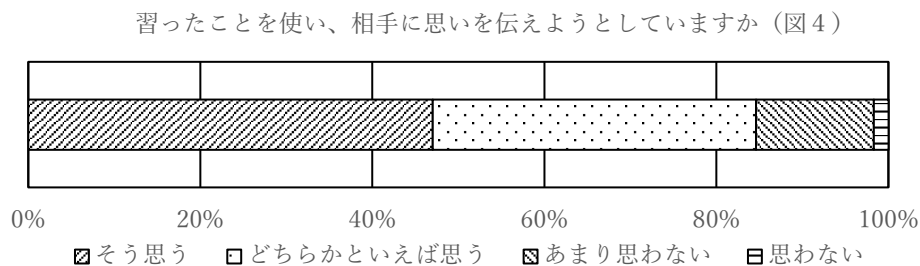
実態調査（令和5年6月実施 n = 117）からみる児童の実態は以下の通りである。「あなたは英語が好きですか」という質問に対して、8割以上の児童が「英語が好き」「どちらかといえば好き」と答えている（図1）。その理由として半分強の児童が「大人になって役立つ」と答え、今後の進学や職業選択につながることを理解している児童が多いことが分かる（図2）。それ以外でも半分弱の児童が「話すことが楽しい」「英語で気持ちを伝えたい」と答えていることから、英語でのコミュニケーションに積極的に取り組み、楽しんでいることがうかがえる。一方で英語が好きでない理由（図3）としては、「発音が難しい」「覚えられない」「分からない」と、技能的な困難さを挙げていて、英語を必要ないと考えている児童は少ないことが分かった（図3）。

あなたは英語が好きですか(図1)

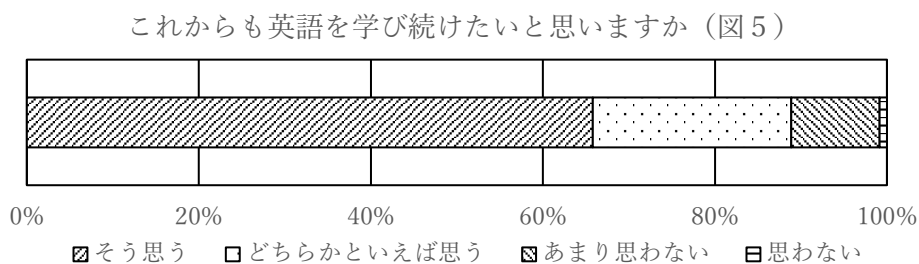




また、「習ったことを使って、相手に思いを伝えようとしていますか」という質問に対する回答の比率は「あなたは英語が好きですか」に対する回答の比率とほぼ等しくなっている(図4)。このことから、「英語が楽しい、好きだ」という児童を増やすことが、「英語で伝え合おう」とする児童の育成につながると考えられる。

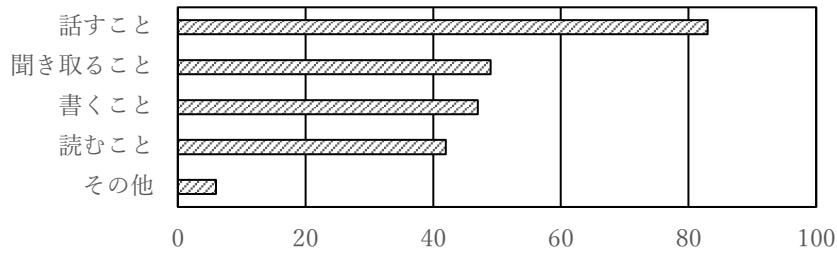


また、「これからも英語を学び続けたいと思いますか」という質問に対しては全体の約2/3の児童が「そう思う」と答え、「どちらかといえばそう思う」も含めると9割近い児童が肯定的な考えを持っていることが分かった(図5)。



これらのことから、児童は英語が将来につながるという必要性を理解し、英語での活動を好き、楽しいと考えている一方で、英語を覚えることや話すことの困難さから英語を好きでないと考えている児童がいることが分かった。現在英語が好きでないと考えていても、将来に向けて英語を学び続けたいと、現実的に考えている児童がいることも分かった。

何ができるようになりたいですか（2つまで選択）（図6）



また、「何ができるようになりたいですか」と尋ねると、「話すこと」と答える児童が7割と圧倒的に多く、「聞き取ること」「書くこと」「読むこと」と答える児童がそれぞれ4割前後となっていて、児童は英語を使って思いや考えを発信する力を身につけたいと考えていると思われる(図6)。好きではないと考える理由が「発音が難しい」「英語を覚えられない」というものだったことも考え、ALTの正しい発音を繰り返し聞き、繰り返し発話することが必要だと考える。また、それに並行して、3年生という段階からも「発話の正しさ」よりも「楽しんで発話すること」「失敗を恐れず発話すること」の大切さを伝え、「英語が話せた」という体験を積みませ、英語が好きになるようにしていきたい。そうすることで児童の英語への関心呼び起こし、英語の習得へつながっていくと考える。

4 研究主題、仮説及び手立て

(1) 研究主題

自ら学び、進んで考えや気持ちを伝え合うことができる児童の育成

(2) 研究仮説

「言語活動を通して」コミュニケーションを図る指導と、目標と対応した評価の一体化を実現することで考えや気持ちを伝え合う力を育むことができ、自ら学ぶことができる児童を育成することができるであろう。

(3) 手立て

手立て1 「言語活動を通して」資質・能力を育成する指導の工夫

- ①児童にとって魅力的な目的、場面、状況の設定
- ②効果的な Small Talk の工夫
- ③言語活動を通して「聞く」「話す」「読む」「書く」指導の工夫
- ④児童に意欲と自信をもたせる教師の働きかけの工夫
- ⑤それぞれの学習場面に応じて効果的なICT活用

手立て2 目標と指導と評価の一体化を図る工夫

- ①目標に対応した評価規準の明確化
- ②指導と評価に生かすことができる学習カード、振り返りカードの工夫
- ③児童の学習改善、教師の指導改善に生かすことができるICT活用

(4) 本単元での重点取組

1 - ①児童にとって魅力的な目的、場面、状況の設定

本単元では、「家族に“FOR YOU しょうたいカード”を送ろう」というゴールを設定した。「FOR YOU しょうたいカード」とは、国語科の「気持ちをこめて『来てください』」の学習で作成した招待状のことである。単元のゴールとして、国語科の学習で作成した招待状に飾り付けをする場面を設定した。前単元で学習したアルファベットのカードや形のカードを用いながら飾り付けをしていく。年

度当初に3年生を対象に実施した英語アンケートでは、全体の8割の児童が「英語が好き」と回答し、理由としては、前述の通り5割以上の児童が「大人になって役立つ」と答えている。一方で「英語で自分の気持ちを伝えたいから」、「英語で話すことが楽しいから」と答えた児童が5割以下である。3年生という発達段階を踏まえ、「伝えたい」、「楽しい」と児童が思えるような活動を取り入れ、英語への意欲が高まるようにしたい。以上の実態を踏まえ、本単元では、アルファベットや形のカードを集めてオリジナルの「FOR YOU しょうたいカード」を作成する活動を行うことで、児童同士でやり取りする場面を意図的に多く取り入れられるようにした。また、Unit6「ALPHABET」で児童が作成したアルファベットカードを使用することで前時との繋がりを意識させながら、意欲的に活動させたい。

1-⑤それぞれの学習場面において効果的なICT活用

本単元では、児童が「What do you want?」「A (star)card, please.」というセンテンスを繰り返し使えるよう、友達と関わりながら様々な形や色のカードを渡したり集めたりする活動を多く取り入れている。自由に何枚もの形カードを使いながらクイズを作成したり、協力して作品づくりを何度も繰り返し行えたりするというICTの特性を十分に活かしながら活用していく。カードを集める際にはクロームブックの「ジャムボード」、色や形を使い分けてクイズを作る際には「Let's make quiz」(熊本市教育センターHPよりブラウザ版を使用)、友達とカードを送り合う際にはミライシードの「オクリンク」で送る等、目的によってコンテンツを使い分ける。学習場面に適したコンテンツを提示し、繰り返し英語を使用する場面を意図的に設けることで、進んで会話に慣れ親しみコミュニケーションを図る素地を身に付けさせたい。

2-①目標に対応した評価規準の明確化

第3学年の外国語活動は、活動することが主体である。そのため、振り返りに時間をかけてしまい、活動に十分な時間を確保できないことは望ましくない。また、活動の中で自己調整をしたことについて振り返りを書くことのできる発達段階ではないと考える。振り返りでは、課題に対する達成度をハートに色をつけることで振り返らせ、なぜその達成度なのかを書かせることで、次の学習に繋げることができるよう工夫している。

5 単元の目標

家族に渡す「FOR YOU しょうたいカード」を作るために、欲しいものの尋ね方や答え方、形や色や数などの言い方について、先生や友達の話の聞いたり、相手が欲しいものを尋ねたり答えたりする。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	形や色、数を表す語、What do you want?/A (star)card ,please. などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。	欲しい物を伝え合うために、形や色や数などのやり取りを聞き、意味が分かっている。	欲しい物を伝え合うために、形や色や数などの意味を分かろうとしている。
「やりとり」話すこと	欲しいものを尋ねたり答えたりする表現 What do you want?/ A (star) card ,please. などを用いて、コミュニケーションを取ることに慣れ親しんでいる。	表情やジェスチャーなどをつけて相手に伝わるように工夫し、欲しいカードの形や色や数などを既習の表現などを使い、伝え合っている。	表情やジェスチャーなどをつけて相手に伝わるように工夫し、欲しいカードの形や色や数などを既習の表現などを使い、伝え合おうとしている。

7 単元計画（10時間扱い 15分×15回 45分×5回）

		内容 C:Child A:ALT H:HRT T:HRT or ALT	評価規準
第1時	E-タイム 1/15	<p>○Song “Shapes Are All Around” (triangle, rectangle, circle, heart, diamond, square, oval, star)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度目は音源をよく聞かせる。どんな形が出てきたか聞いたり、好きな形のところで手を挙げたりして英語表現に親しむ。 アニメーションを見ながら一緒に歌えそうなところを口ずさむ。 <p>○Activity Let’s play①「シェイプ・クイズ」 H: 「What shape is this?」 C: 「Triangle.」 H: 「That’s right. This is a triangle.」 教師と児童のやり取りで進めながら、丁寧に英語表現を聞かせる。</p>	○単元の導入期のため、記録に残す評価は行わない。
	E-タイム 2/15	<p>○Song “Shapes Are All Around”</p> <ul style="list-style-type: none"> 始めは再生速度を落とし、正しい発音を聞かせる。 アニメーションを見ながら一緒に歌えそうなところを口ずさむ。 <p>○Activity Let’s play①「どうぶつ当てクイズ」 H: 「What shape is this?」 C: 「Yellow star.」 H: 「That’s right. This is a yellow star. What animal is this?」 C: 「Panda.」 H: 「Yes. It’s a panda. Do you like panda?」 教師と児童のやり取りで進めながら、丁寧に英語表現を聞かせる。</p>	
	E-タイム 3/15	<p>○Let’s Chant “What do you want?”</p> <ul style="list-style-type: none"> 二人がどんなやりとりをしているのか考えさせる。 男の子〈A〉と女の子〈B〉のパートに分けて歌わせる。 児童は〈ジャムボード〉を開く。HRTが形の名前を言い、児童がそれを聞き取り同じ形を出す。形を並び替えて、HRTがどんな乗り物を作ったのかを当てる。 <p>○Activity EL 1/5 「Make a picture of the same vehicle .」に向けて、形を使って乗り物のイラストを作る。</p>	
第2時	EL 1/5	<p>○Let’s Chant “What do you want?”</p> <ul style="list-style-type: none"> 始めは再生速度を落とし、正しい発音を聞かせる。 男の子〈A〉と女の子〈B〉のパートに分けて歌わせる。 <p>○Small talk 「遊園地で好きな乗り物」(教科書P.26-27)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H:Hi, Ms. Glaiza. I like amusement parks.How about you? A:I like amusement parks too. H:What attraction do you like? A:I like the roller coasters! How about you? H:You like roller coasters!?! I don’t like screaming rides. I like merry-go-round.</p> </div>	【知・技】聞 形や色、数を表す語、What do you want ? / A (star)card ,please.などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・観覧車以外の乗り物や建物について全体で会話をする。どんな乗り物や建物などが見えるか、どんな形があるか、何個あるか、色は何色か、など既習の表現を使って順番に聞いていく。 ・What attraction do you see? ・How many ○○? ・What color? <p>○Today' s point</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">ミッシングクイズで形を当てよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動への動機づけを行う。 ・デモンストレーションとしてALT との自然なやり取りで行う。 <p>○Activity 「ミッシングクイズ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャムボードを使ってミッシングクイズを行う。グループで活動し、どんな形が隠れているかを当てる。(What' s missing?/A yellow star.) 必要なら、What color? や How many? など既習表現を使って質問させる。 <p>○Let' s Watch and Think(教科書 P.28)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のグリーティングカードの映像を見せ、グリーティングカードがどんなものなのか考えさせる。 ・単元のゴールを伝える。 <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">家族を行事に招待するための「FOR YOU 招待カード」を作ろう</p> <p>○Reflection</p>	
第 3 時	E-タイム 4/15	<p>○Song “Shapes Are All Around”</p> <p>○Activity 「好きな形カードを作ろう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミライシード<オクリンク>を使用して、自分の好きな形のカードを作って送る。 ・Song “Shapes Are All Around” を聞きながら、自分が選んだ形の音が聞こえたら挙手をする。 	○記録に残る評価は行わない。
	E-タイム 5/15	<p>○Song “Shapes Are All Around”</p> <p>○Activity① 「先生の欲しい形カードを送ろう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミライシード<オクリンク>を使用して、先生の欲しい形と色のカードを聞き取り送る。 ・Here you are./Thank you. <p>○Activity② 「友達の欲しい形カードを送ろう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミライシード<オクリンク>を使用して、グループの友達の欲しい形と色のカードを聞き取り送る。 ・Here you are./Thank you. 	

	E-タイム 6/15	<p>○Song “Shapes Are All Around”</p> <p>○Activity 「What’s this?クイズを作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ウェブアプリ「What’s this?～クイズを作ろう～」を使用して様々な形を組み合わせ、クイズ作りを行う。 	
第4時	E L 2/5	<p>○Let’s Chant “What do you want?”</p> <ul style="list-style-type: none"> 始めは再生速度を落とし、正しい発音を聞かせる。 男の子〈A〉と女の子〈B〉のパートに分かれて歌わせる。 <p>○Small talk 「誕生日に欲しいもの」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H:Ms. Glaiza. When is your birthday? A:My birthday is September 17th. H:What do you want for your birthday? A:I want a new shoes! H:That’s good. I hope you get it. A: How about you? H:I want new sunglasses. What do you want? (児童に聞いていく)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> HRT と ALT の会話のあとに、児童に何がほしいか聞いていく。難しいものは日本語で答えてよい。 <p>○Today’s Point</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 会話を聞いて、作品を見つけよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動への動機づけを行う。 デモンストレーションとして ALT とのや自然なやり取りで行う。 <p>○Let’s Listen 「だれの作品かを聞いて、線で結ぼう。」(教科書 P. 29)</p> <ul style="list-style-type: none"> 欲しい形をやり取りする音声を聞き、誰がどの作品を作ったのかを考えて線で結ぶ。 音声を聞かせる前に、どの作品には、どんな形がいくつ必要なのかなどについて児童に考えさせ、集中して主体的に聞けるようにする。 <p>○Activity 「作品を見つけようゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表の児童を前に出し、会話からどの作品を作ったのか考えさせる。 <p>H: What do you want? C: A star, please. H: What color? C: Orange. H: OK! What do you want? …</p> <p>○Reflection</p>	【思・判・表】聞 欲しい物を伝え合うために、形や色や数などのやり取りを聞き、意味が分かっている。
第5時	E-タイム 7/15	<p>○Let’s Chant “What do you want?”</p> <p>○Activity 「形を集めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ミライシード<オクリンク>を使用して、答えた形カードを手書きで作成して送る。 	○記録に残る評価は行わない。

		<ul style="list-style-type: none"> What do you want? / A (pink circle), please. 自然な流れで、教師→児童のやり取りから、児童→児童のやり取りに移行していく。 	
	E-タイム 8/15	<ul style="list-style-type: none"> Let's Chant "What do you want?" Activity 「形を集めよう」 ミライシード<オクリンク>を使用して、答えた形カードを送る。 	
	E-タイム 9/15	<ul style="list-style-type: none"> Let's Chant "What do you want?" Activity 「形を集めよう」 ミライシード<オクリンク>を使用して、答えた形カードを送る 	
第 6 時	EL 3/5	<ul style="list-style-type: none"> Song "Shapes Are All Around" <ul style="list-style-type: none"> 全員で歌ったり、担当の形を決めてジェスチャーを付けながら歌ったり、楽しく活動する。 Small Talk 「グライザ先生に好きな乗り物を伝えよう」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>H:Ms. Glaiza, I like riding "自転車".</p> <p>A:Wow...What is the "zitensya" ?</p> <p>H:OK. Someone give me a shape card.</p> <p>C1: (What do you want?)</p> <p>H:I want two black circles, please.</p> <p>C1:Here you are.</p> <p>H:Thank you.</p> <p>C2: (What do you want?)</p> <p>H:I want a blue triangle card, please.</p> <p>C2:Here you are. (自転車の絵が完成するまで繰り返す。)</p> <p>H:Thank you. Ms. Glaiza, this is "自転車" !</p> <p>A:Oh, that's a bicycle!</p> </div> Today's Point <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>友達と同じ作品をつくるために、形を聞こう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動への動機づけを行う。 デモンストレーションとしてALTとの自然なやり取りで行う。 ジャムボードに形カードを集め、カードを作る様子を見せる。 Activity 「同じ乗り物を作ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ジャムボードを使用して必要なカードを集め、友達と同じ作品作りに挑戦する。 Reflection 	【主】聞 欲しい物を伝え合うために、形や色や数などの意味を分かろうとしている。
第 7 時	E-タイム 10/15	<ul style="list-style-type: none"> Let's Chant "What do you want?" アニメーションを見ながら、低速でカラオケで歌う。 前回クイズにした児童の作品を取り上げて、リズムに合わせて楽しく歌う。 	○記録に残る評価は行わない。

		○Activity「作品を見つけようゲーム」	
	E-タイム 11/15	○Let's Chant "What do you want?" ・アニメーションを見ながら、低速でカラオケで歌う。 ・前回クイズにした児童の作品を取り上げて、リズムに合わせて楽しく歌う。	
	E-タイム 12/15 (本時)	○Activity「作品を見つけようゲーム」 ※詳細は本時の展開 ○Let's Chant "What do you want?" ・アニメーションを見ながら、低速でカラオケで歌う。 ・前回クイズにした児童の作品を取り上げて、リズムに合わせて楽しく歌う。	
		○Activity「作品を見つけようゲーム」	
第 8 時	EL 4/5 (本時)	※詳細は本時の展開 ○Song "Shapes Are All Around" ○Small talk「グライザ先生へのFOR YOU カード紹介②」 ○Today's Point <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">FOR YOU カードを作るために、形のカードを集めよう。</div> ・本時の活動への動機づけを行う。 ・デモンストレーションとしてALTとの自然なやり取りで行う。 ○Activity「形カードを集めよう」 ○Reflection	【思・判・表】や 表情やジェスチャーなどをつけて相手に伝えるように工夫し、欲しいカードの形や色や数などを既習の表現などを使い、伝え合っている。
第 9 時	E-タイム 13/15	○Let's Chant "What do you want?" ・アニメーションを見ながら、カラオケで歌う。 ・前回クイズにした児童の作品を取り上げて、リズムに合わせて楽しく歌う。	○記録に残る評価は行わない。
	E-タイム 14/15	○FOR YOU カードの作成① ・相手が喜ぶようなカードを作る。	
	E-タイム 15/15	○Let's Chant "What do you want?" ・アニメーションを見ながら、カラオケで歌う。 ・前回クイズにした児童の作品を取り上げて、リズムに合わせて楽しく歌う。 ○FOR YOU カードの紹介練習 ・This is ○○. ・This is for my mother./family. ・Nice card.	
第 10 時	EL 5/5	○Song "Shapes Are All Around" ・音をよく聞いて一緒に楽しく歌う。 ・自分の担当の形のところをジェスチャーをつけながら元気に歌う。	【主体】や 表情やジェスチャーなどをつけて相手に伝えるように工夫し、欲しいカードの形や色や数など

	<p>○Small talk 「グライザ先生へカードのプレゼント」</p> <p>H: This is musical note. And this is photo. This is a pink star. You like pink. And this is flag of the Philippines. This is for you!</p> <p>A: Thank you! I'm happy.</p>	を既習の表現などを使い、伝え合おうとしている。
	<p>○Today's Point</p> <p>作った FOR YOU しょうたいカードを、友達にしょうかいしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動への動機づけを行う。 ・デモンストレーションとして ALT とのやり取りの自然な流れで行う。 	
	<p>○Activity 「カードの紹介」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで作ったカードを紹介し、いいねカードを渡す。 	
	○Reflection	

8 本時の展開

① E - タイム (第12回目)

目標: What do you want?/ A (○○)card, please. を用いて、考えを伝え合うことができる。

準備: デジタル教材 デ教 タブレット端末 (教師用) 教タブ 大型テレビ TV

○展開

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価	準備物
0.5分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の準備を整えさせ、挨拶をする。 <p>H: Let's start English class. Stand up. Hello, everyone. C: Hello, Ms. Kamimura.</p>	タブ
6分	○Let's Chant "What do you want?" を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションを見ながら、低速でカラオケで歌う ・前回クイズにした児童の作品を取り上げて、リズムに合わせて楽しく歌う。 	デ教 TV 教タブ
8分	○Activity 「作品を見つけようゲーム」	<ul style="list-style-type: none"> ・代表の児童を前に出し、会話からどの作品を作ったのか考えさせる。 <p>H: What do you want? C: A star card, please. H: What color? C: Orange. H: OK! What do you want?...</p>	デ教 TV 教タブ
0.5分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・E-タイムLでのゲームに意欲と自信をもって臨めるように声かけをする。 <p>H: That's all for today's E-time. Everyone stand up. C: Thank you very much, Ms. Kamimura.</p>	

②E - タイムL (第4回目)

目標：家族を行事に招待するために、What do you want?/A (〇〇)card , please./Here you are. を用いて欲しいものを尋ねたり答えたりしながら、思いを伝え合うことができる。

準備：デジタル教材 デ教 タブレット端末 (教師用) 教タブ タブレット端末 (児童用) 児タブ
 大型テレビ TV 振り返りカード 振カ

○展開

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
0.5分	○Greeting 挨拶をする。	・学習の準備を整えさせ、挨拶をする。ジェスチャーを使いながら楽しく挨拶を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> H: Let's start English class. Please stand up. Hello, everyone. C: Hello, Ms. Shimizu. Hello, Ms. Glaiza. A: How are you today? C: I'm good, thank you. How about you? A: I'm good, too. Thank you. How is the weather today? C: It's sunny, today. A: What is the date today? C: It's November 13th. H: What day of the week, today? H: It's Monday. </div>	
4分	○Song “Shapes Are All Around” を歌う。	・全員で歌ったり、担当の形を決めてジェスチャーを付けながら歌ったりして、楽しく活動する。 (triangle/rectangle/circle/heart/diamond/square/oval/star)	TV 教タブ
7分	○Line talk	・オクリンクを使用して、列ごとに短い会話をしながら、Activityに繋がるよう< What do you want?/A (〇〇)card , please.>の表現を繰り返し聞かせる。	TV 児タブ
10分	○Small Talk 「グライザ先生へのFOR YOU したいカード」を聴く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> H:Ms.Glaiza,we will have a “音楽会” on November 16th.Please come and see us !! A:Wow...What is a “ongakukai” ? H:OK.Someone give me a card. C1: (What do you want?) H:I want a music card, please. C1:Here you are. H:Thank you. I want another music card. C2: (What do you want?) H:I want this card, please. C2:Here you are. H:Thank you. Ms.Glaiza, this is “音楽会” ! A:Oh,that's a music festival! </div>	TV 教タブ 児タブ

		<ul style="list-style-type: none"> ・児童から送られた形カードを使用して ALT への招待カードを作成することで、学習意欲を高める。 ・ALT との会話の中で、児童数名と <What do you want? /A (〇〇)card, please. /Here you are.> を用いてやりとりをする。Activity に繋がるよう、会話をしながら繰り返し聞かせる。 ・招待する行事に関係のない形でも、カードを送る相手が好きなカードを集めてよいことを伝える。 	
1分	○Today's goal めあての確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールとなる活動を行うことを伝え、意欲を高めさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">FOR YOU しょうたいカードを作るために、カードを集めよう。</div>	
18分	○Activity 「形カードを集めよう」を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT とデモンストレーションを行い、グループで会話をしながらカード集めの活動することを伝える。 ・児童全員に会話の機会を保證できるよう、一人一台のタブレットを使用する。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><児童同士のやり取りの例></p> <p>C1:What do you want?</p> <p>C2:(A star card / this card),please.</p> <p>C1:Here you are.</p> <p>C2:Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px dashed blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><やり取りするカード></p> <p>・形カード ・音楽イラストカード ・体育イラストカード</p> <p>・お花カード ・アルファベット/言葉カード</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば <How many?/What color? /I want 〇〇.> など、既習表現を使って欲しいものを尋ねたり伝えたりする。 ・繰り返し英語表現を使いながら友達からカードをもらったりあげたりする。自分がやり取りをしていない時もグループの友達のやり取りを聞くようにする。 ・英語で言えなかった表現を確認して ALT に聞いたり、よい表現を紹介したりして、進んで英語表現を使いたいという意欲を高めるための中間指導を行う。 <p style="text-align: right;">【思・判・表(や)】 観察で評価</p>	見タブ
4分	○Reflection 振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・Today's goal を再び確認し、振り返りカードのハートに色を付けることで達成度を振り返らせる。 ・ハートが全部塗れた場合は今日の授業で何ができたのか、その他の達成度の場合には何が足りなかったのかを文章で詳しく書くように指導する。 	振カ
0.5分	○Greeting 挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>H: That's all for today's English class. Please stand up.</p> <p>A: Thank you very much everyone.</p> <p>C: Thank you very much Ms. Glaiza, and Ms. Shimizu.</p> </div>	

